

## 防犯(3) あすか野防犯協議会・あすか野自主防災会(生駒市)

項目	内容
世帯数・人口	
◇世帯数	約1,805世帯
◇人口	4,747人
◇内65歳以上人口(高齢化率)	1,559人 ( 32.8%)
地域の特徴	
◇まちの特徴	昭和50年代に大阪のベッドタウンとして開発された丘陵地に広がる団地
◇過去の災害、想定される災害	土石流、急傾斜地の崩壊、地震、火災
◇犯罪発生状況、想定される犯罪	空き巣、その他身近な犯罪

設立年月日	平成17年
設立のきっかけ	地区内で空き巣被害が多発したことや、平成16年11月に発生した富雄北小学校児童の誘拐事件など
目的・キャッチフレーズ	自分たちの街は自分たちで守る
予算規模	年25～30万円(自治会からの助成金)
主な活動内容	
◇防災・防犯など一体的な活動	ご近所サロン
◇防災活動	自主防災訓練、防災センター見学、避難場所の周知徹底、防災機材の調達と管理、防災講演会の実施、災害福祉マップ作成
◇防犯活動	侵入盗(空き巣)の抑止、子どもの見守り活動、定期合同パトロール、随時パトロール(ウイズ作戦)、特別パトロール
◇その他の活動	
主な連携先	自治会、幼稚園、小学校、中学校、PTA、老人会、子ども会、地域安全委員、青少年指導委員、ボーイスカウト、ガールスカウト、生駒市

## 生駒市・あすか野防犯協議会

- ◇世帯数 : 1,805世帯
- ◇人口 : 4,747人
- ◇高齢化率: 32.8%
- ◇構成  
あすか野 北1~3丁目  
南1~3丁目 の6地区
- ◇特徴
  - 昭和50年代に大阪のベッドタウンとして開発
  - 開発から30年以上が経過し高齢化率が高い



## “みんなで作ろう安全・安心の街” あすか野



生駒市・あすか野防犯協議会

## あすか野防犯協議会の特徴

地域内で空き巣被害が多発したことなどから、H17に結成され、「自分たちの街は自分たちで守る」をスローガンに、日夜、自主防犯・防災活動に取り組んでいます。



## あすか野防犯協議会の活動指導案

- (1) 地域住民による定期合同パトロール
- (2) 地域住民による随時パトロール
- (3) 子どもの見守り活動
- (4) ご近所サロン
- (5) 自主防災訓練

## 活動指導案(1)・あすか野防犯協議会

- ◇タイトル  
地域住民による定期合同パトロール
  - ◇活動の概要  
毎月3回、大人数、目立つ服装で拍子木を打ち、あいさつ、声かけ、ゴミ拾い等をしながらか種団体合同でパトロールする
  - ◇目標・ねらい  
大々的に地域ぐるみで人の目を確保し、空き巣などの犯罪企図者を地域に寄せ付けない
- 普段は、「ウイズ作戦」(随時パトロール)いつでも・何でも・～しながらのパトロールを実施している

## 「地域住民による定期合同パトロール」の特徴1

- ◎ 基本原則
  - ・無理なく、強制しない
- ◎ 実施日(月3回で日は固定)
  - ・1月は1の付く日で、11-21-31日
  - ・2月は2の付く日で、2-12-22日
- 曜日固定していないので、休日に当たれば参加できる
- ◎ 実施時間(約1時間半)
  - ・毎月1-3回目は日没時間帯
  - ・毎月2回目は11:00~12:30
- 活動日、時間帯がわかりやすいため住民が参加しやすい



### 「地域住民による定期合同パトロール」の特徴2

- ◎ 参加者全員が地域の中心部に位置する「自治会館」に集合し、会長から最新の犯罪情報や注意点などを伝達し、情報共有した後、パトロールに出発する
- ◎ 地域を6地区に分け、各地区の住民が自分の地区をパトロールすることで、「自分の地区は自分で守る」という意識を強固にしている



### 「地域住民による定期合同パトロール」の特徴3

- ◎ 活動を継続するために
  - 交代する自治会役員に防犯協議会の活動継続を依頼
  - 女性への参加を広く呼びかけた結果、女性参加者が増加し、活動の活性化と継続の大きな力となっている



## まとめ

- ◎ 取り組みの成果
  - 住民の「自分の地域は自分で守る」意識が高まった
  - 住民同士の連帯感が高まった
  - 活動によって空き巣の被害が激減した
  - 強い呼びかけによって、女性参加者が増加した
- ◎ 今後の課題
  - 若い人を呼び込んで活動を広げたい
- ◎ チャレンジ事業参加の感想
  - 活動を体系的に整理することで、防犯協議会の活動を改めて見つめ直すことが出来た
  - 県内の他地域の活動に触れ、いい刺激になった